

事業の目的

新潟駅付近連続立体交差事業は、鉄道を挟む南北市街地の一体化による都市の活性化を図るとともに、2箇所の踏切を除却して都市内交通の円滑化を図るため、JR信越本線等の新潟駅付近約2.5kmにおいて鉄道を高架化するもの。

再評価実施の必要性

設計基準の改定、安全対策の追加や人件費等の高騰に伴い、B/C(費用対効果)が減少したことから、事業継続の妥当性について改めて意見を聴取するもの。

B/C(費用対効果)

1.07

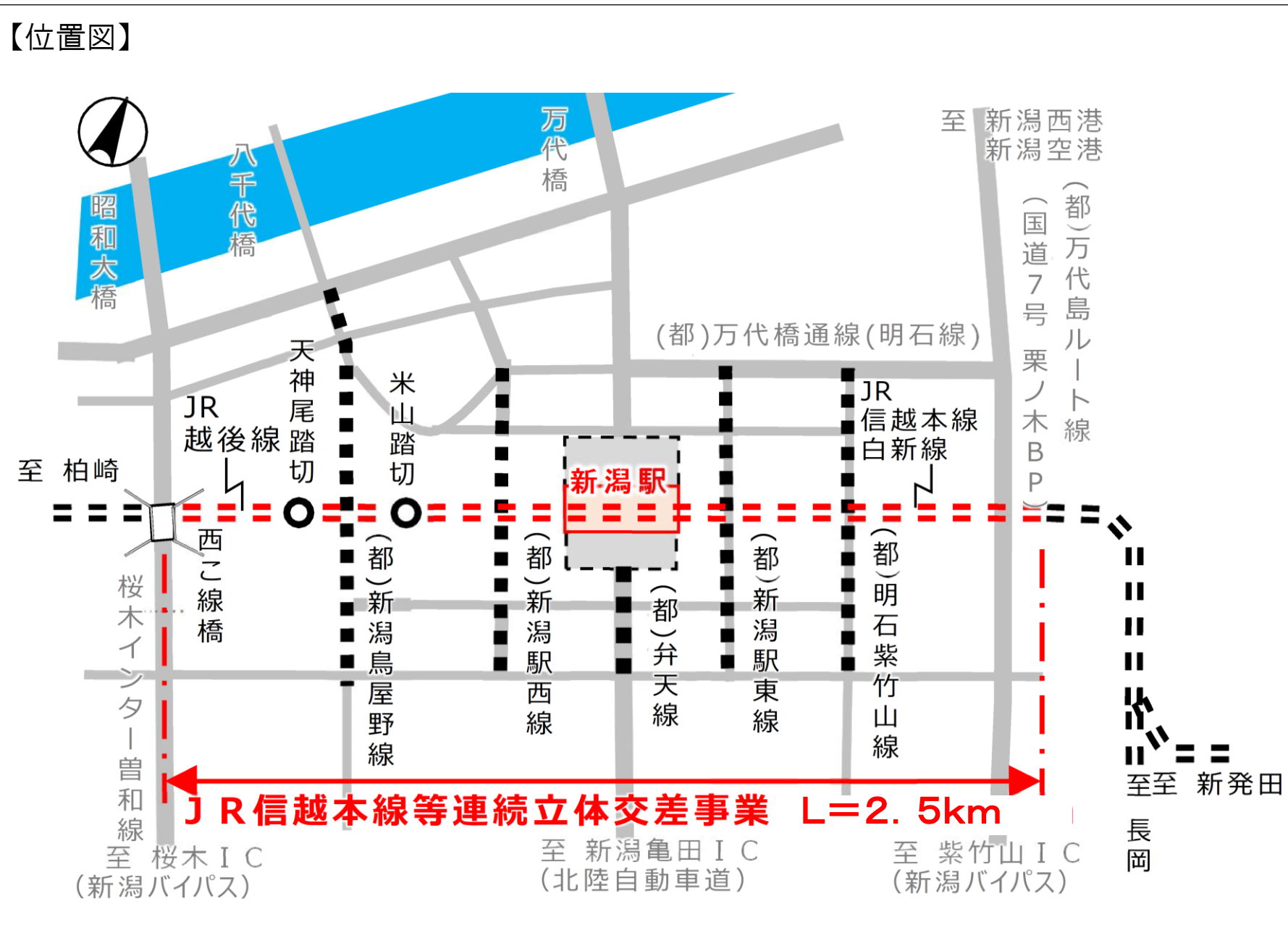
対応方針(案)

鉄道の高架化により、鉄道を挟む南北市街地の一体化による都市の活性化や、都市内交通の円滑化など事業効果が高いため、事業を継続し、早期供用を目指す。

【広域図】



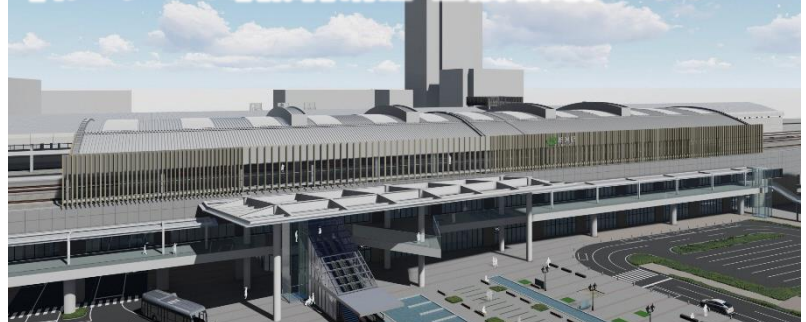
【位置図】



【写真】新潟駅付近 第一期開業および第二期工事状況



【イメージパース】新潟駅付近 全線高架後



JR信越本線等連続立体交差事業 L=2.5km